

# 議会だより



ハイッ！ あったー。ー松井小学校 カルタ大会ー

## 12月定例会

- **議員定数** 18人を14人へ ▶ 2
- **補正予算** 坂本山野部線トンネル化へ ▶ 4
- **委員会のうごき** ▶ 14
- **こんなとない これどうなるの** 8人が一般質問 ▶ 6

# 一致で削減

議員定数が、11月に実施される町議会議員選挙から14名になります。

12月11日から22日までの12日間の日程で開催された第20回定例会の初日、議員定数等調査特別委員会（河崎一委員長、議長を除く全議員で構成）が提案した議員の定数条例を、全議員の賛成で可決しました。

**4名減で  
21%の削減に**

町は平成32年までに現在の財政規模約120億円を100億円以下にスリム化していかなければなりません。  
議会では、各種団体への補助金見直しや未使用借地の返却、各事業の効率的な運用について指摘・提案をしています。

当然、議会の経費も聖域ではなく削減の対象としています。

現在議員にかかっている経費は、年間約7600万円。

議員を4人削減すると年間約1453万円の議員報酬と共済掛け金などの町負担金180万円、併せて約1633万円を節約することができ、議員にかかる費用を21%以上削ることができます。

**削減の  
デメリットも検討**

議論の過程では、急激に議員定数を削減し、広範な民意をどう汲み上げ、施策に反映するのか。現在住民から求められている議会の果たすべき役割

## 賛成討論

本町の明日にとり

最良の選択

清水俊博

議事機関としての議会の機能の強化や民意を反映するための議会議員定数。今なぜ削減なのか、しなければならぬのか。

経費削減・近隣市町の動き・報酬に見合う議員の動き、資質、論点多岐にわたりました。4減、新定数「14人」議員自らの定数を自ら削る。重い判断を下しました。

「地方改革」しかしその改革の道筋は緒についたばかり。この選択が議会はもとより「住民の皆様」にとり最良の選択になることを固く信じるものです。

削減をきつかけに

信頼を得られる議会に

高澤栄子

議員数の削減については、最初から賛成の立場ですが、議会改革を論じるなかで、削減に向かえばいいと考えていました。なので正直なところ、委員会での議論が、議員数の削減に経費の節減や近隣市の状況、住民の目、削減数は、といったところに終始したことを残念に思っています。

しかし、14名という数字はそんなに無茶な数字ではないということ、このことが、住民から信頼を得られるような議会改革につながっていけばよいという思いがある中で、削減には賛成です。

## 議員定数

# 18人を 14人へ

# 全議員

をどの様に実現していくのか、という視点からや、行政の監視機能の弱体化や行財政改革を進める『声』が小さくなるのではないかと。など議員定数削減のデメリット部分についても協議しました。

## 削減は 議会改革の第一歩

現在兵庫県下に限らず全国の自治体で議員定数の削減がおこなわれています。

これらの自治体では、議員定数削減のデメリット部分をカバーするためいろいろな取り組みがおこなわれています。

なかには取り組みを『議会基本条例』などにまとめて議会改革に不断に取り組まれている町もあります。

多可町議会も先進事例に学び、地方分権時代にふさわしい議会像とはど

のようなものなのか、議会の権限の変化に対応した議会機能をどうしていくのか、今後とも調査研究をしていきます。



多くの傍聴者が見守るなか定数削減を決めた議会

## 定数より

## 質がもっと大切

池田義孝

14名に削ることが住民の本当の利益に繋がるものでもない。議会は何をしたか、するのか、議員が何をしたか。又するのかがもっと大切なことである。

議会がこれほど定員を削っているにもかかわらず、行政側は多すぎる人数を抱え、改革に熱心ではない。もっときちんとした形の行政改革をやってもらいたい。

## 議員定数減の

## 財政改革

竹本克之

私達18名は選挙の門をくぐり、誰一人として手抜きやサボリは一切なく、精一杯に住民の負託に応えます。但し、数が多かろうと少なかろうと能力の差は否めません。

議員や住民から定数減の声が出ているのは、近隣市町の定数状況や財政面からだけだと思います。自治体の財政が豊かであれば、この問題は表面化しなかったでしょう。議会改革や行政改革ではなく、財政改革にあると認識し4名減の定数14名に賛成致します。

# 請願

兵庫県保険医協会北播磨支部長の田淵 光さんより次のような請願が提出され、全員一致で採択しました。

## 「助け合い」を壊すな！

平成17年に成立した「保険業法等の一部を改正する法律」によって、知的障害者やPTA、開業医などが自主的に健全に運営している「自主共済制度」が運営できなくなりまし。

そのため解散に追い込まれる団体が次々に生まれています。

自主共済制度は、社会保障や民間保険の手が及ばない分野を担ってきました。

こうした営利を目的としない「助け合い」制度を法の適用から除外されるよう請願します。

## 次の意見書を可決

## 全員賛成で意見書を送付

自主共済制度は例えば、県知的障害者施設利用者互助会では、障害者の会員が入院した場合、差額ベッド代を補なうなど営利を目的とはせず助け合いの精神で運営されています。これら自主共済制度が改定保険業法によって新たな掛け金を集められなくなり解散に追い込まれています。

議会では自主共済制度を守るためには改定保険業法の適用を除外する必要があるとの結論に達し、全員一致で国及び関係機関宛に意見書を送付しました。

## 賛成討論

### 互助の精神を生かす

大西 一好

悪徳共済業者を取り締まるための保険業法改正が、各種共済・互助団体の解散を余儀なくされているが、営利目的でなく仲間同士の助け合いで、社会保障や保険の手が及ばない分野を狙っているもので除外すべきもの。

## 補正予算

## 合併特例債事業続々

### 坂本山野部線トンネル化へ

12月議会では、総額1億2500万円を追加する予算案を審議し全員賛成で可決しました。

追加予算の主なものは、測量委託費6000万円と情報通信網整備費4000万円などの合併特例債（事業費の95%を借金で賄い、元利償還金の70%が国によって手当てされ

る借金）事業です。

測量委託費は、加美区と八千代区を結んでいる町道坂本山野部線のトンネル化にもなうものです。9カ所目のトンネル事業がいよいよ進みます。

※町内にあるトンネル  
・船坂・桑坂・八千代・天神  
町内外を結ぶトンネル  
・石原・高坂・播州・小野尻



トンネルで便利に

### 12月補正予算

歳出	款	補正額	
一般会計	総務費	△454万円	徴税還付金
	民生費	2,025万円	重度心身障害者医療
	衛生費	4,596万円	浄化センター通信整備
	農林水産業費	△186万円	林道測量委託料
	商工費	81万円	和紙博物館ポンプ修理
	土木費	6,056万円	坂本山野部線測量ほか
	消防費	7万円	落雷による機器修理ほか
	教育費	267万円	パトロール業務強化
	諸支出金	109万円	基金積立

## 人事

### 固定資産評価審査委員

任期満了に伴い6名の委員の選任を、全員一致で同意しました。今回2名の女性委員が加わりました。任期は3年です。

藤原紘一さん(中区 再)  
高田 昇さん(中区 再)  
藤田光雄さん(加美区 再)  
市位正稔さん(八千代区 再)  
今中照子さん(加美区 新)  
渡邊春美さん(八千代区 新)

### 教育委員会委員

法律の改正で義務教育のお子さんをお持ちの保護者から教育委員を任命することに、次の方の任命に同意しました。任期は1月1日から4年です。  
数原誠子さん(八千代区)

## 条例

### 安全なお産を

#### 国民健康保険条例を改定

産科医療補償制度ができました。分娩時、医療事故が起こり、脳性麻痺となった子およびその家族の経済的負担を補償します。

保険料は、一分娩当たり3万円です。

現在は、出産費用として35万円給付されていますが、不足する3万円を増額するために、全員賛成で条例を改正しました。ただし、「産科医療制度」に加入している医療機関で分娩した場合に限られます。

#### 賛成討論

### 出産一時金 引き上げは当然

高澤栄子

条例改正のもととなっている国が創設した「産科医療補償制度」については問題や疑問点も多く指摘されています。しかし、妊婦さんにとっては、保険金3万円がプラスされる分、出産費用が高くなるので、出産一時金の引き上げには賛成します。

## 臨時議会

11月20日に臨時議会が開催されました。

議題は、工事請負契約の締結と一部変更です。

### 地デジに向けて準備着々

加美テレビ(4月からたかテレビ)局舎内の機材を地上デジタル放送対応のものへ入れ替えます。  
富士通ネットワークソリューションズ(株)と2億6197万5000円で契約することを全議員賛成で承認しました。

### さらなるバリアフリー化も

中町南小学校中学校舎の耐震補強工事を全員賛成で535万8150円追加しました。工事現場を視察し指摘しておいたバリアフリー化工事分などです。

## 農業委員の

### 定数改定

#### ―選挙区を廃止―

現在農業委員会の定数は、中区12名、加美区11名、八千代区7名、推薦6名の合計36名ですが、次回選挙から選挙区をなくし、定数24名の公選委員と推薦6名の合計30名になります。

**問** なぜ選挙区をなくす必要があるのですか。  
**答** 次回選挙時には、条

件があります。

区域を分けて2以上の選挙区を設ける場合は、それぞれの選挙区に、区域内の農地面積500ha以上、または基準農業者数600人以上を有することになっています。

現行の八千代区では、290ha、525人で条件がクリアできません。そのため選挙区をなくします。

**問** 定員を36名から30名に削減するのはなぜです

か。

**答** 近隣市町の現状を参考に決めました。

現行の定員数や選挙区は、実情に合ったものと思われるですが、定員を削減することにより農業委員会の業務に支障が出ないように、などの意見が出る中、慎重な審議を重ね、全員一致で可決しました。

# こんなんでない これどうなってるの

12月定例議会での一般質問は、  
12月19日に行われ、8人の議員  
が行政全般について質問をしま  
した。



## 特例債使用を はやまるな



池田 義孝 議員



来年度より工事に着手 -坂本山野部線-

**池田** 特例債事業はこ  
の度の大不況が織り込ま  
れていません。特に坂本  
山野部線のトンネル化18  
億円事業は1〜2年延期  
して景気動向を見極める  
べきです。国は財政出動  
せざるをえなくなり、交  
付税や補助金を増額し、  
大幅補正を組まざるをえ  
ないでしょう。21年度予  
算もそのことを考慮すべ  
きです。

①特例債事業を補助金対  
象事業に移しては。  
②坂本山野部線事業は2  
年の猶予期間があり、ト  
ンネル工事も大手ゼネコ  
ン受注では地元業者への

恩恵は少なく、町内活性  
に繋がりません。一日通  
行量約600台を150  
0台に見積り、費用対効  
果値1・5も意味をなさ  
ない。利用目的の具体的  
整理や地域経済の需要創  
出効果が試算されたのか。

**特例債措置を  
基本に据える**

### 町長

補正対応は  
積極的に行  
たい。特例債は補助率に  
換算すると3分の2と高  
い。もっと有利な補助や  
起債があればその時に考  
えるが、特例債を基本に  
据えてかかりたい。

### 技監

当事業は地  
域交流や連携  
にぜひ必要。地元説明会  
でも十分説明済みである。  
費用対効果は十分見込め  
ます。地元業者にはトン  
ネル外部の工事の可能性  
を検討したい。



廣畑 幸子議員

# 休日運行の臨時便に 柔軟な対応を

**廣畑** 18年12月の「土・日など休日に臨時便を出してほしい」という質問に、前向きな検討をするという答弁でした。その後、変化がない中、イベント等や、子どもたちが行きたい図書館への足の確保の希望はふえていきます。

もちろん工夫は重ねています。財政的な問題もあります。また、出しているはずの情報が、思ったように届いていないという現状もあります。

しかし、交通弱者の足の確保という観点からたったのぎくバス。もっと柔軟な検討が必要では。



バスがあればもっと大ぜいこられるのに

## 課題は多いけれど

### 町長

住民の希望にこたえる事は

大事なことです。しかし、乗らない便をふやす事はできません。けれど、対象を限定できるイベントなどは検討できると思います。また、わかりやす

## 公共交通の

### 今後は

**廣畑** のぎくバスは、11月1日現在、利用しや

い情報提供や、交通案内人のオペレーター育成確保など、努力していきます。

## 計画を策定中

### 企画情報課長

地域 公共交

通総合連携計画の策定に向け、協議を進めています。のぎくバスの利用実態の把握やアンケート調査により、総合的な公共交通サービスのあり方を検討します。

すい時刻への変更、1便増便、西脇病院への乗り入れを新たに加えるなどのサービスを充実させる一方、9便が減便されています。

多可町地域公共交通活性化協議会で検討を重ねられています。乗り合いタクシーや、フリーデマンドバスの導入など、次年度の考え方は。



大西 一好 議員

## 介護保険制度の改善は



いつも親切にありがとう

**大西** 第四期介護保険

事業計画および、支援認定者へのケア、介護保険料と給付のあり方、在宅介護料の増額等について伺う。

第三期を踏まえて

改善

**町長**

第四期は介護予防の再編、支援センターの充実、介護給付の適正化を図り、不適切な介護サービスのチェック体制を確立し、

特定施設入居者生活施設を介護施設として認定します。在宅介護料増額については、入所と在宅との関係から考えてもよい。

介護認定者ケアについては、施設・診療所等のネットにて情報交換し、対応しています。

一人一改革の

実践を

**大西** 節約型行政改革

には限界があり、改革発想型として「一人一改革」を自らが実践し発表・評価することにより自信を付けます。

自主的な

職員提案を実施

**町長**

改革案は、個人・グループの自主的提案制度を実行し、13件の提案がありました。人事評価につい

では、課長補佐以上に試行しており、目標達成度、能力評価について実施中で努力すべき点を明確化、貢献を果たすとともに、昇任・昇級に連動したものと

なっています。

学力向上の

手立てを

**大西** 児童生徒の変化

に環境整備が対応し切れていません。43年前の幻想を言い訳として「聖域」を作ってはいけません。ま



寒さに負けずに元気よく 一中北小学校一

た、アシスタント不足と見えますが。

次年度は低位層を

アップ

**町長**

9年間で学力をしっかりと身に付けていくことを基本に置き、次年度は特に低位層の学力アップと、教職員の指導力アップを重点課題として取り組んでいきます。

**教育長**

教育アシスタントの必要性は感じていますが、財政的な面での課題があります。授業参観する中で、正常な学級活動、教育活動ができるように検討課題とします。



高澤 栄子議員

# コミバス 原点にもどり 質的な向上をめざせ

**高澤** これまでのように路線の変更や拡大、増便を重ねても、サービスが量的に拡大するだけで、質的な向上には結びつかない。

今必要なことは、公共交通としてのコミバスのあり方について、コンセプトを確立しなおし、問題点や課題を検証。抜本的なところから再構築していくことです。

デマンド交通についても、バスを交通手段としなければならぬ人に照準を合わせ、導入に向けての研究をすべきです。

逐次いいものにしていききたい

**町長**

デマンド交通なども視野に入れながら、路線バス

に乗ってもらうための促進利用をはかり、いいものにしていききたい。

## 予算編成過程

### 情報公開で住民参加を

**高澤** 最近では、情報公開や行政の透明化への認識も進み、多くの自治体

が予算編成過程をホームページ上で公開しています。どのようにしてその予算が決定したのか。住民にとっては極めてわかりづらい予算編成過程を、多可町でもH・Pで



協議会で公共交通のあり方を検討

公開していったらどうか。予算案として固まる前の公開は、各方面からの意見も反映できるし、職員

公開は難しい

**町長**

考えなければならぬ課題であるが、予算の編成は限られた期間内でやらなければならず、公開していくには難しい面もある。直ちに考えられるとすれば、公聴会の開催が可能かと思えます。

## 職員の不祥事

### その後の対応策を問う

**高澤** 職員の不祥事は昨年度のこと。原因の究明はすでに行われていないければならないはずですが、なぜ、不祥事が起き、その後どういう対策をとったか



新聞報道されてからでは遅い！

個人としての自覚を促していく

**町長**

全体の奉仕者としての反省文を書かせるなど、個人としての自覚を促し、職員とともに対応策を考えてきたが、まだ、決定的といえるよい具体策は見つかっていない。



■ 誠一議員

国保税に申請減免制度を  
導入せよ

■ 世界的な金融不安から、職を奪われるなど、急激な景気の後退が始まっています。そもそも高すぎる国保税を払えず、医療にかかれないという状況をつくらないためにも住民からの申請に基づいた国民健康保険税の減額制度を作ってはどうか。

規則を定め実行する

町長

悲惨な状況が生まれつつあるということに危惧の念を持っています。窮状を救うことに躊躇はありません。規則を制定し実行に移します。



負担が大きい国保税

小規模作業所への  
補助金削減はするな

■ 20年度は、障害者の通う小規模作業所への補助金も削減されました。小規模作業所への聞き取り調査を実施しましたが、補助金の削減はそのまま指導員の人件費削減に直結しています。21年度も無慈悲に補助金を削減すれば、小規模作業所では正職員はもとよりパートでの職員の確保も困難になります。補助金の削減はやめるべきです。

21年度は削減しない

町長

今後も、地域の障害者の活動拠点としてしっかりとした基盤を築いていただくためには、当然指導者等のレベルアップ、また専門的な知識をもたれる方の確保が必要だと思います。財政面はもとより精神的にもバックアップしたいと考えています。21年度分の町補助金の削減は考えていません。



指導員さんと一緒に野菜づくり -あすなろの郷-

同じ所得なら同額の  
保険料にすべき

■ 介護保険料の設定は、同じ年金額でも課税世帯か否かで金額が違います。課税世帯に暮らす被保険者でも、自らの年金等の収入で生活している場合、非課税世帯の方と同じ金額にしてはどうか。

保険料軽減に  
前向きに取り組む

健康福祉課長

課税世帯でも本人非課税の方の合計所得金額の合計が80万円以下の方については、保険料額を軽減すべく計画策定委員会で審議いただいております。前向きに取り組んでいきたいと考えています。



門脇 幸澄 議員

## 企業誘致へ積極的 取り組みを

**門脇** 合併後3年間で

企業誘致の件数の実際は1件で20年度は0件です。「熱意とフットワークとチャレンジ精神」が足りない。町内の雇用の創出と将来の発展の鍵を握る企業誘致を成功させるための取り組みはいかに。

**基本計画を基に  
攻めの姿勢で**

**町長**

①先日基本計画が完成し、工業用地6地区をホームページに掲載中です。②今後は基本計画と町の条例や促進措置との整合性を調整し、施策の体系化を図ります。また2件の企業と交渉中です。

## 丹波加美線の 必要性と進捗状況

**門脇** 丹波加美線には

これまで9億7800万円が投下され、今後トンネルと両側からの接続道路で数十億円が必要です。この道路は多可町民全体にとって本間に必要で緊急性があるのか。①1日の利用台数は何台で、総事業費はいくらか。②費用対効果とその利便



丹波市氷上町に立つ看板

性とは何か。③県と丹波市の進捗状況と完成年度はいつか。

**平成26年以降の  
完成を目指す**

**技監**

①1日2600台を見込み総工費は約39億円です。②費用対効果は2・4で、走行期間の短縮と交通事故の減少、京阪神からのアクセスが向上し、地場産業と観光振興を支援し、整備効果は高い。③現在、県と市が用地買収を進めており、平成26〜30年度間の完成を目指し前向きに検討中です。

## 職員の意識改革と 定数削減を

**門脇** 昨年11月に発覚

した職員の不祥事と町の対応には、職員の意識改革の欠如と町の隠ぺい体

**行革は不退職の  
決意でやる**

**町長**

昨年に役場職員8力条と行政経営課を創設し、行革を進めている。町長報酬は特別職の報酬審議会を次年度に設置し、減額で諮問します。

	年間報酬
多可町長	13,640,400
西脇市長	11,583,740
加東市長	15,609,406
加西市長	11,265,800
小野市長	16,831,500

(平成20年条例額)

## 人権施策の更なる 推進のために



秋田 清議員



人権コンクールの表彰式 ー多可町民の集いー

**秋田** 2007年3月「多可町総合計画」では、「同和問題等さまざまな人権問題における差別や偏見をなくし、すべての人々の基本的な人権が尊重される町づくりを目指す」と明記されています。先般多可町役場の窓口で発生した問い合わせ事件に対し、多可町としてどのように分析したのか、課題等を伺いたい。

パソコン、携帯、インターネットによる中傷誹謗やネットいじめなど、子どもたちを巡る人権侵害事件の対策について、今後の方向性を伺います。

**今後とも啓発事業に  
力を入れたい**

**町長**

同和問題が未だ解決した

問題でないことを示す事件として捉えています。今後とも同和問題の解決に向けた啓発事業に力をいれます。

**教育長**

小中学校のコンピューター

のインターネットへのアクセスは学校単位でフィルタリングをおこなっています。またネチケットも指導しています。さらに家庭、個人でできる対策の啓発も進めています。

ネチケットはインターネット上でコミュニケーションを行う際に他人への配慮を心がけるなど、社会で最低限必要とされているエチケットのこと。ネチケットが全く存在しないインターネットコミュニティは、ネットいじめが横行する無法地帯になるといわれている。

議会の様子が、かみテレビよりネット配信されています。多可町ホームページからご覧いただけます。

パスワードとユーザー名は町広報に掲載しており、定期的に変更になります。



竹本克之議員

# CATVが町を 一つにする

竹本 情報の共有化

(特に身近な情報)が地域連携を深め、心豊かな生活を醸成する一助と考えます。

地デジ変換は、町内ほとんどもが難視聴地域の現状から、CATVたかテレビ開局が着々と進行されていきますが、

①情報の共有が、地域と地域、人と人をついにし明るい町をつくと考えらるが。

②たかテレビ加入率向上策は。

③地元業者育成のため、かみテレビと各共聴施設ケーブル撤去は地元業者限定にしては。

## 人と人・地域と地域を つなぎます

### 町長・企画情報課長

①難視聴地域の解消と情報の共有化がなし得た時に、人と人、地域と地域が一つになり、心の合併が果たせる最も重要な事業と考えています。

②7月の地域情報化説明会、11月から加入説明会を行っていますが、民生委員さんから手助けの申し出もあり、今後は各種団体の会合などでも説明を行っていきます。

③町内電気屋さん対応は各家庭内工事は可能です。共聴施設やケーブル等撤去は地元参入を考慮しますが、労働安全衛生法の特別教育を受けた方が条件になります。



取材中のかみテレビのカメラマン

## 議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

次の定例会は3月に開かれます。  
みなさん傍聴にお越しくください。

くわしくは事務局まで連絡ください。

議会事務局 32-4775

# 総務

## 地域の足をどう確保するか

人々の足を守ることが重要な課題になっていきますが、公共交通機関である路線バスとのぎくバスを拡充しながら、費用対効果も考えていかなければなりません。

### 《のぎくバスの現状》

一昨年11月から去年の9月までを見ると、のぎくバス利用者は3万6000人、路線バス利用者13万8000人で、内15万7000人が通学での利用です。

差額運賃助成制度として町からの持ち出しは、18年度3800万円、19年度4500万円、20年度5100万円と年々増加傾向にあります。

住民の足を守る事も大事。しかし、費用対効果もありません。このことを他自治体と比較調査するために、篠山市を視察しました。



篠山市の現状を学ぶ委員

### 《篠山市を視察》

市内の谷間地域の足を守るために、週1〜2回、幹線までコミュニティバス2台が運行されています。

他には、スクールバスの利用と、一定経費の地元負担による乗り合いタクシーの運行でカバーされていますが、利用度はあまり高くなさそう。でも、ここでも公共交通のあり方を根本から再検討中でした。多可町でも、路線・ダイヤ共に洗い直しの時と思われるので、委員会でも引き続きのぎくバスについては検討、協議していきます。

# 厚生

## 財政面のバックアップは不可欠

### ―小規模作業所―

委員会では、補助金が削減された障害者小規模作業所の運営に、どのような影響がでているのかを調査しました。

小規模作業所は、一般就労に結びつかない障害をもたれた方や一般就労を目指される障害者の就労の場です。

町内3施設は育成会を中心に運営され、作業収入と県、町補助金、利用者負担金等で賄われています。指導員へ支給される給料は大変安いものですが、正規ならびにパート指導員が厚い情熱をもって障害者の方々を支えています。

20年度では、パート指導員の勤務時間を短くして、削られた補助金をカバーしていました。これ以上削減されれば正規職員を確保する事が困難になります。

障害者が自立して生活できる社会を目指すためにも、小規模作業所への財政面でのバックアップは欠かせません。

委員会では、引き続き障害者福祉の充実に向けて必要な施策の検証を重ねます。

### 中町日赤に

#### 新たに外科医が赴任

医師不足が問題になっていくなか、委員会ではいち早く医師を確保するための補助金制度などの必要性を行政に働きかけてきました。

この補助金制度が活用されて秋には小児科医院が新たに開業され、1月からは中町日赤に外科医が赴任されました。これで日赤の常勤医師は7名になります。



1日体験してきました

## 産業 建設

坂本(八千代)・  
山野部線測量・  
設計始まる

合併特例債を活用しての、町道「坂本山野部線」の道路新設・改良にともなう測量、設計、調査がいよいよ始まります。費用は7600万円。

この議会では、当初予算の2000万円に増額して、5600万円が計上されました。坂本山野部線ではトンネルが新設される予定で、旧三町間の連携に効果があるとして合併協議の中でも提言されていました。

### 有機の土づくり事業 補助金を増額

化学肥料が急激に高騰していることから、牛糞等の有機肥料に転換する農業者が増えるのではないかと、この見方から補助金が50万円増額されました。(補助金は牛糞散布10a当たり20000円の補助) 委員会ではいい機会なので、有機農業を推進する方向へ持つていってほしい、と要望しました。

### 農業委員が現行の

36名から30名に

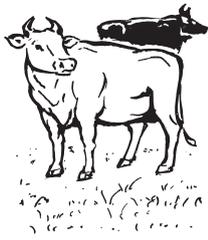
農業委員会は中区12名、加美区11名、八千代区7名、推薦6名の委員で構成されていますが、次の改選(5月)から、選挙区なしの24名の公選委員と推薦委員6名の30名で構成されることになりました。

委員会では、委員数の削減による弊害、選挙区がなくなることによる委員の偏り等について審議。近隣市との比較からも、削減に賛成することにも、選挙時の広報等の周知徹底を要望しました。

### 浄化センターの

### 情報通信網を統一

加美区と八千代区のコミュニティプラント浄化センターの緊急情報通信網が中区のシステムに統一されます。費用は合併特例債を活用して4200万円。



## 行政 改革

行政の  
スリム化を

行政ではない民間団体が各施設を管理運営することで、行政にはできない柔軟な発想で創意と工夫をこらした施設運営を期待して、平成18年9月より、福祉施設8、交流施設17、教育施設7、農林業施設1、の計33施設を指定管理者制度に移行しています。



エコミール加美

その内25施設が平成21年3月末日で指定管理期間が満了します。

委員会では、指定管理期間が終了する各施設の現状把握のための現地視察を実施し、今後のあり方等の検討を進めました。

検討の結果エコミール加美を除く全ての施設が、指定管理制度の導入前の行政管理と内容が変わっていないのが実情です。

委員会では、各施設の特徴を活かした創意工夫と、施設の特徴をPRするなど、さらなる利用促進を十分に図るべきであるとの結論を持ちました。

なお、それらの工夫をしてもなお利用人数の低い施設については、同様の施設との統合や閉鎖、民間企業等への売却も視野に検討を進めることとしています。

伝えたい伝統行事

# とんどの復活

中区安坂



今年の無病息災を願って

1月17日、午後6時、とんどの火がつけられました。火の勢いが増すとともに、しばらくするとバーン、バーン、と竹の勢いよくはじける音。各家庭から持ち寄った正月飾りや書初めが、ゆらゆらと天にのぼっていきま

す。  
小正月の1月15日に、旧年のお札や正月飾り、しめ縄等を焚きあげ、その年の無病息災を願う火祭り「とんど」。中区安

坂の「とんど」は、昨年

から復活しました。区長さんをはじめとする役員さんたちで構成されているコミュニティ部会が中心となって、刈り取り後の田んぼに、竹のやぐらを組むなどの準備が進められてきました。この日は、集まってきた人々に、手作りの温かいぜんざいもふるまわれました。

とんどの火でお餅を焼いて食べると、風邪をひかない、といわれていますが、特製の網を用意してきて、お餅を焼く人。おいしい焼き芋を、とサツマイモ持参の子どもたちもいました。

書初めが、高く舞い上がる、「字が上手になるでえ」との声がかかったり、伝統行事の復活は、大人たちにも子どもたちにも、ほっこりとした気持ちを抱かせてくれたようでした。

旧中町時代の平成10年

おもちが焼けたよー



より始まった安坂の村づくり活動。とんどの他にも、祇園祭りやクリンロード作戦、作品展等、交流をテーマに、さまざまな活動に取り組みられています。

各集落の村づくり活動をテーマに、お届けしているこのシリーズ。今回は中区安坂のとんど取材しました。

## 編集後記

寒中お見舞い申し上げます。

昨年中は、議会広報の取材や写真撮影など、ご協力をいただきました、ありがとうございました。

▼元旦、鳥取方面へ車で向いました。折からの雪で、スノータイヤなんて何のその。車はあれよあれよ、という間に半回転して前輪が溝の中へ。途方にくれましたが、通りかかった何台もの車、人々の助けで、幸いにも無事、車は引きあげられました。雪の降りしきる中をほんとうにありがたい思いでした。そんな訳で今年も、「感謝・感謝」からスタート。感謝を返していく毎日が送れたら、と思っています。

▼今年も「わかりやすい」をモットーに、委員一同精進していきますので、よろしく願います。

(高澤)